

第406号

発行
浄土真宗
心光寺
奥原曇龍
倉敷市早高426
☎(086)420-1311



荒野に向かう



カット：本多紘子

晩秋の候、吹く風にも冷気が加わってくるようです。今年の夏は異常な猛暑が秋のお彼岸まで続き、いつになったら涼しい秋が来るのだろうかという待ちに待っていました。一挙に晩秋がやって来ましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

お寺の周りの水田に実った見事な稲穂も、コンバインであつという間に刈り取られ、何となく寂しさを感じる愚僧です。農業も機械化され田植えも稲刈りもあつという間です。昔は親戚や組合の人たちと共同で助け合い、気も使い大変でした。今は農家の仕事も楽にはなりませんが、農機具を買ったり維持するのに採算が合わず、後継者の問題で農業法人に委託する農家も増えています。商店や中小企業と呼ばれる会社でも、後継者が育たず廃業が増えているのは残念です。

10月1日に、米大リーグ・エンゼルスの大谷翔平選手(29)が、44本塁打でアメリカン・リーグの本塁打王に輝きました。メジャー6年目の大谷選手が投手・打撃の主要部門でタイトルを獲得するのは初めてで、日本選手としても初の本塁打王となりました。本格的に投手も務めながら、その座に就いたのは過去にルー・ス選手しか居ませんでしたが。疲労も重なり肘の故障が再発しましたが、無理をせずゆっくりと

*心の悩み・信仰の相談は月曜日から木曜日の午前中に気楽にお電話下さい。

直し、日本の子供たちに夢と希望をこれからも与え続けて下さい。

夢と希望といえ、10月11日に将棋の藤井聡太名人(21)が史上初の「八冠独占」を達成しました。最年少記録で七つのタイトルを保持していた藤井名人が、永瀬拓矢王座(31)にシリーズ成績を3勝1敗とし、唯一残っていた王座のタイトルを奪取したのです。謙虚な藤井名人、試練の連続でしょうが前人未踏の記録を期待しています。

将棋や囲碁の戦いやスポーツの戦いはルールの下に行われ、安心できますが、戦争や紛争はルールなき戦いで地獄です。10月7日にパレスチナ自治区ガザを支配するイスラム組織ハマスが、イスラエル南部に侵入し戦闘を開始しました。イスラエル側の反撃も始まり、ガザの一般人たちの犠牲も目を覆いたくなるほど悲惨になっています。ある仏教僧が「地獄は無し 造るべからず」と言い、地獄は本来無いのだが、人間が我執によって喧嘩し地獄を造ると述べています。どれだけの人が死ねば、停戦合意されるのだろうか。悲しいですね。

鎌倉時代に唯円房が書かれた『歎異抄』は、親鸞聖人のお言葉を正しく伝えようとしたものです。第三条には「善人なほもって往生をとぐ、いはんや悪人をや」という有名な言葉がありますが、善人ですら浄土に往生をする。まして悪人が往生を遂げられないことがありましようか」という文句に驚かされます。世間の人は悪人が救われるならば、善人が救われないはずがないという論理なら理解できますが、悪人こそが仏様の一番の救いの目当てだという論理は理解しにくいですね。上司に取り入り部下には辛く当たる人は善人ですか。市民には聖人面し裏で利権をあさる輩は善人ですか。私たちは自分のことを悪人とは思えないほどの悪人も知れませんよ。

音楽グループ「アリス」のリーダーの谷村新司(74)さんが10月8日に急性肺炎で死去しました。愚僧も同じ年で、「昇」や「いい日旅立ち」の歌が大好きでした。人生は荒野に向かう道より無しと頑張られた彼の生涯、皆の心に歌は生き続けますね。合掌 (奥原 曇龍)

『人生は荒野に向かう道より無し 悔いのない道を真剣に歩もう』 どんりゆう

ともしび説法

日時・十一月 三日「金曜日」 午後一時から四時頃まで。

「秋の報恩講法要」 法要儀式と仏教講演

場所・倉敷市早高 426 新本堂 電話 086-420-1311

ともしびを読みみたい方、お寺についてもっと知りたい方 [心光寺 倉敷 検索](#)



カット：奥原 綾



お釈迦様ものがたり

先月号で、お釈迦様の従弟に当たる30歳ほど若いダイバダッタの行動に、仏教教団が大きな騒動に巻き込まれていく物語を書き始めましたが、続けさせて頂きます。

ダイバダッタは野心を持ち、世俗的な神通力で、当時最強のマガダ国の王子アジャセに近づきます。王子から信頼を得て、日々多大な供養を受けていました。

お釈迦様はこのことを大変歎かれ、世間的な欲望や名譽財産などは、出家者にとっては自己を破壊する原因となると、比丘(僧侶)たちに懇々と注意されたのです。

あるとき、お釈迦様がラージャガハでマガダ国のビンバシヤラ王を含めた大衆に説法をせられていた座席で、ダイバダッタは「お釈迦様はすでに老齢であるから、私に仏教教団をまかせて下さい」と言ったが、お釈迦様はこれを拒絶します。大衆の面前で辱めを受けたダイバダッタは、お釈迦様を怨みます。

自分の目的が達せられなかったダイバダッタは、お釈迦様を殺しても仏教教団を奪おうと計画します。またアジャセ王子に対しても、父のビンバシヤラ王を早急に亡き者にしようとするよう勧告します。アジャセ王子はクーデターを起こしてビンバシヤラ王を牢獄に幽閉し、餓死させています。

ダイバダッタはアジャセ新王に頼んで、お釈迦様を殺させようとした。しかし暗殺者の一人が、お釈迦様に近づくとその威力に打たれ、恐れおののいて身が硬直し、何事も出来ませんでした。お釈迦様は、彼のために種々の説法をされ、彼は前非を悔いて仏教信者となりました。次に二人の暗殺者が向かいますが、この二人も同様に悔い改め仏教信者となります。

ダイバダッタはあせり、お釈迦様が霊鷲山におられる時、自らがおおきな石を転がし落とし、殺そうとします。合掌 (奥原曇龍)

親鸞忌お寺に参り念仏す 老いも若きもつつむともしび 田辺多恵子



9月30日 心光寺総代さんの本堂仏具みがき

ともしび法話

秋も一段と深まり、冷気が身に沁むこの頃ですが、皆様お元気ですか。今年の夏の猛暑から、ようやく解放されましたね。心光寺は11月3日の報恩講法要の準備で、午後1時から法要儀式と仏教講演があり、気楽にお参り下さい。心光寺坊守(ぼうもり) 奥原 博子

11月3日の法要は親鸞聖人を偲ぶ行事であり、人生を見つめ直す場でもあります。「秋深し親鸞聖人偲びつつ 寺に参れば心やすらか」 倉敷市亀島 磯永 充利

親鸞聖人は平安時代の末期、1173年生まれです。当時は戦乱に明け暮れ、民衆は飢餓と病気が蔓延し苦しんでいました。その人々と共に生きた方が親鸞様です。 倉敷市西富井 網本 健二

人の命の儚いことは、今日とも知らず明日とも知らず寂しいことです。今日一日を悔いのないよう笑顔と感謝で歩みたいと思っています。「何があっても大丈夫」 倉敷市藤戸天城 福原 浩子

ともしび説法

日時・十一月三日「金曜日」 午後一時から四時頃まで。 場所・倉敷市早高四二六 心光寺(しんこうじ) 本堂にて 電話・(086)420-1311 駐車場有り

○ともしび説法・お寺の行事予定

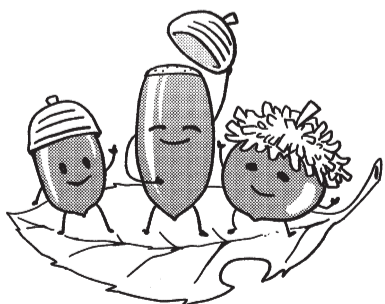
- 十二月 十一日(月)・午後一時半から四時まで・早高の本堂。
- 一月 一日(金)・午後一時半から四時まで・早高の本堂。
- 二月 六日(火)・午後一時半から四時まで・早高の本堂。

☆ともしび会は、月額五百円の会費制です。(賛助会員募集中)。ともしび新聞を毎月発行し続けていますが、たくさんの方の費用がかかります。賛助会員になって下さる方があれば嬉しく思います。会員には、ともしびを郵送させていただきます。(お電話下さい)

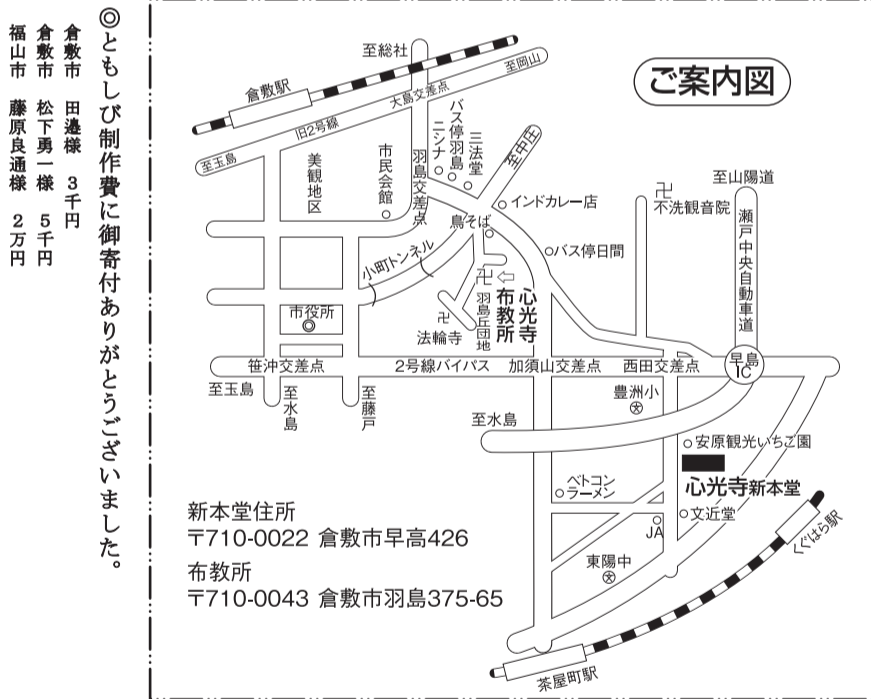


いころの詩

晩秋は冷気ただよう 優しい夕日につつまれながら いろんな人との出逢いと別れが ゆっくり走馬燈のように浮かぶ 駅の終点が近づくとく 宵闇のなかで降りる準備 涙多き人生だったが有り難いな



カット:吉岡美枝



◎ともしび制作費に御寄付ありがとうございました。 倉敷市 田邊様 3千円 倉敷市 松下勇一様 5千円 福山市 藤原良通様 2万円

浄土真宗の宗祖は親鸞聖人(しんらんしようにん)です。お葬式の時にあわてて葬儀屋さんを紹介してもらいより、自分でお寺は決めよう。

〒710-0022 倉敷市早高426 浄土真宗(じょうどしんしゅう)心光寺 TEL(086)420-1311 FAX 420-1322 携帯電話 (090)-2297-2504

★『ともしび』の毎月発行も、お陰様で「406号」となりました。心光寺は、誰でも気軽に来られる「心の雨宿りのお寺」を目標に頑張っています。秋の報恩講法要の日には、倉敷駅西ビル横の駐車場に12時10分、茶屋町駅西口に12時30分にお寺より自動車でお迎えに行きます。自動車の送迎が必要な方は、心光寺までご連絡下さい。合掌 総代長 本家豊彦